

カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）

博士前期課程

生命体工学研究科

（1）知識・理解

【高度な専門知識・理解】

生命体工学における各専門分野の技術者として研究開発活動を行えるように、高度な専門知識が身に付く教育を実施する。

【工学・技術と社会関連知識・理解】

生命体工学における各専門分野が社会で果たす役割を理解できるように教育を実施する。

（2）汎用的技能

【高度な実践的問題解決スキル】

生命体工学における各専門分野の課題を論理的に分析し解決する力を修得できるように教育を実施する。

【高度なプレゼンテーション力】

生命体工学における各専門分野の新技术等を提案・公表するために必要なプレゼンテーション力が修得できるように教育を実施する。

【コミュニケーション力】

生命体工学の各専門分野において論理的思考に基づいた的確なコミュニケーションを行う力が身に付くように教育を実施する。また、その能力を国際的な場で活かすことができるよう教育を実施する。

（3）態度・志向性

【技術者の態度・志向】

生命体工学における各専門分野の技術者として社会で担うべき役割を認識できる教育を実施する。

【自律性】【チームワーク力】

生命体工学における各専門分野の専門的な課題に対して、解決に向けた計画の立案と作業の管理を自律的あるいは共同で行えるよう教育を実施する。

生体機能応用工学専攻

（1）知識・理解

【高度な専門知識・理解】

生体機能応用工学における各専門分野の技術者として研究開発活動を行えるように、高度な専門知識が身に付く教育を実施する。

【工学・技術と社会関連知識・理解】

生体機能応用工学における各専門分野が社会で果たす役割を理解できるように教育を実施する。

(2) 汎用的技能

【高度な実践的問題解決スキル】

生体機能応用工学における各専門分野の課題を論理的に分析し解決する力を修得できるように教育を実施する。

【高度なプレゼンテーション力】

生体機能応用工学における各専門分野の新技术等を提案・公表するために必要なプレゼンテーション力が修得できるように教育を実施する。

【コミュニケーション力】

生体機能応用工学の各専門分野において論理的思考に基づいた的確なコミュニケーションを行う力が身に付くように教育を実施する。また、その能力を国際的な場で活かすことができるよう教育を実施する。

(3) 態度・志向性

【技術者の態度・志向】

生体機能応用工学における各専門分野の技術者として社会で担うべき役割を認識できる教育を実施する。

【自律性】【チームワーク力】

生体機能応用工学における各専門分野の専門的な課題に対して、解決に向けた計画の立案と作業の管理を自律的あるいは共同で行えるよう教育を実施する。

人間知能システム工学専攻

(1) 知識・理解

【高度な専門知識・理解】

人間知能システム工学における各専門分野の技術者として研究開発活動を行えるように、高度な専門知識が身に付く教育を実施する。

【工学・技術と社会関連知識・理解】

人間知能システム工学における各専門分野が社会で果たす役割を理解できるように教育を実施する。

(2) 汎用的技能

【高度な実践的問題解決スキル】

人間知能システム工学における各専門分野の課題を論理的に分析し解決する力を修得できるように教育を実施する。

【高度なプレゼンテーション力】

人間知能システム工学における各専門分野の新技术等を提案・公表するために必要なプレゼンテーション力が修得できるように教育を実施する。

【コミュニケーション力】

人間知能システム工学の各専門分野において論理的思考に基づいた的確なコミュニケーションを行う力が身に付くように教育を実施する。また、その能力を国際的な場で活かすことができるよう教育を実施する。

(3) 態度・志向性

【技術者の態度・志向】

人間知能システム工学における各専門分野の技術者として社会で担うべき役割を認識できる教育を実施する。

【自律性】【チームワーク力】

人間知能システム工学における各専門分野の専門的な課題に対して、解決に向けた計画の立案と作業の管理を自律的にあるいは共同で行えるよう教育を実施する。

博士後期課程

(1) 知識・理解

【最先端の専門知識・理解】

生命体工学分野における最先端の知識および関連する周辺領域の知識が修得できるように教育を実施する。

【工学・技術と社会関連知識・理解】

生命体工学分野における研究開発がもたらす社会的波及効果を理解できるように教育を実施する。

(2) 汎用的技能

【最先端の実践的問題解決スキル】

生命体工学分野における最先端の研究開発を遂行するための専門的な技能を修得できるように教育を実施する。

【コミュニケーション力】

生命体工学分野における研究開発及びその成果発表を国際的な場で行えるプレゼンテーション力とコミュニケーション力が身に付くように教育を実施する。

(3) 態度・志向性

【技術者の態度・志向】【自律性】【チームワーク力】

生命体工学分野における最先端の研究開発を担う者として、分野横断的な広い視野を持ち、研究分野の動向を常に注視し、社会のニーズに応えるべく自ら課題を発見し自律して革新的な技術創出の実現を図ろうとする態度を育む教育を実施する。また、技術開発実現のために、他者に方向性を示し、協力を働きかける力が身に付くように教育を実施する。